



みんなで行動しよう こしがやクールアクション2030 市民編

※こしがやクールアクション2030とは
環境にやさしい「賢い（クール）+行動（アクション）」の取組例です。
リストを参考に日ごろの生活様式をチェックしてみましょう。

取組状況

「3:よく取り組んでいる」「2:取り組んでいる」「1:あまり取り組んでいない」

基本目標1 脱炭素社会の構築

- 国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、環境に優しいライフスタイルを実践します。
- 電気やガスの契約を見直し、再生可能エネルギーを多く使った電力プランを選択します。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標2 気候変動影響への適応

- 気候変動に対して、温室効果ガスの排出量を減らす努力に加えて、既に起こりつつある気候変動影響へ「適応」していくことも重要だと知っています。
- 大雨や台風の際には天気予報を確認しハザードマップで避難経路を確認します。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標3 資源循環型の地域形成

- ごみ減量・資源化のための分別を実施し、資源物の分別を行いリサイクルを徹底します。
- ワンウェイ（使い捨て）プラスチック製品をなるべく使用しません。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標4 生物多様性の保全と回復

- 地域本来の生物多様性を向上させるため、在来種を積極的に植栽します。
- 地域の農地を守るため、地元産の農作物を積極的に購入します。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標5 安全で安心な生活環境の形成

- 市域の大気や水質などの生活環境の状態について、市のホームページや環境白書などを見て知っています。
- 公共交通機関を利用し自転車や徒歩での移動を行います。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

基本目標6 人づくり、参加・協働

- 商品を購入するときやサービスを利用するときはエシカルな視点で選択します。
- 貯金の預け先はSDGsやESG（環境、社会、ガバナンス）に関する取組を実施している金融機関を選びます。
- 自らの環境にやさしい取組を家族や友達に紹介し、取組の輪を広げます。SNSなどで情報発信します。

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1

○ 3 ○ 2 ○ 1